

三寶寺 2004年(平成16年)行事予定

- 3月13日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 17日(水) ~ 23日(火) 春の彼岸会
(読経ご希望の方お寺にお申込み下さい)
- 20日(土) 三寶寺春の彼岸会 14:30より
(過去帳・法名軸・その他ご持参下さい)
- 26日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 4月10日(土) 釈尊誕生会(花まつり) 13:30より
入参式(誕生祝)・定例法話会・寄席
- 23日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 5月8日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 28日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 6月12日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 25日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 7月3日(土) 三寶寺移動研修・法話会
- 13日(火) ~ 19日(月) 孟蘭盆会
- 23日(金) 仏典読書会
- 8月9日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 13日(金) ~ 19日(木) 孟蘭盆会
- 27日(金) 仏典読書会
- 9月11日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 20日(月) ~ 26日(日) 秋の彼岸
- 23日(木) 三寶寺秋の彼岸会 14:30より
- 24日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 10月9日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 22日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 11月21日(日) 三寶寺仏具おみがき会 15:00より
- 28日(日) 三寶寺報恩講(定例法話会合流)
- 22日(月) ~ 28日(日)
京都本山報恩講上山予定
- 26日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 12月8日(水) 成道会(釈尊)
- 11日(土) 定例法話会・寄席 13:30より

7月3日(土) 移動研修・法話会

今年は伊豆河津「涅槃堂」へでかけます。
ぜひ皆さんご参加ください。(詳細は4ページ)

住職随想

仏法は命がけて聞かないと、パターンと体の調子で聞けなくなる
ことがある。長老の方
がご来寺が困難になっ
たご様子である。サン
スクリット学習会が始
まった時、まっさきに
参加され、その感想が



1/23 サンスクリット
学習会「大般涅槃経」

「お釈迦様の声がじかに聞け、おもしろ
い」と言っておられた。その後参加さ
れた20歳の男性の方も、学習中にお寺
の阿弥陀如来像と講師の曾我部正幸先
生を交互に見比べて「釈迦の教
えが声となって両方からかわりば
らんに語りかけてくる」と言い、
「悩むよりは勉強!」と強く言わ
れました。
また、ある女性から電話があ
りました。「今日、具合が悪いの
で欠席します」ところが、サン
スクリット学習会が始まる前にい
らっしゃいました。「一カ月かけ
て仏法の言葉をノートに書き写し
てきました。だんだん自分の持つてい
るまよいの心がわかってきました。具
合が悪かったのですが、教えを学びた
いと思ったら、自然に体が良くなりま

した。これが無明が晴れる証明でしょ
うか。」
また、帰り際に「この世に生まれて
きて、一番つらいのは、ランプのよう
に世を照らすことができないことなの
でしょうね。人によつては、死ねと言
われた人もいるのです。」
私は、この人こそ仏陀の精神が燃え
あがっていると思った。釈迦の求めて
いた真実の教え、苦悩の有情を捨てず
して、必ず寿なる祝福されし役割の道
に導くのである。
その過程でいろいろな方が法灯の言
葉を述べている。
「私は怒らなくなりました」

「なんとかなる人生でした」
「私の持っている心がわかりました」
「この女性はほとんど自灯明・与えら
れしいのちをもって法の灯明をあちら
こちらにともす人なのです。現実に私
の中で、釈迦の求めていた真実の教え
に学ぶという、素晴らしい精神を燃え
あがらせているのです。一人でも多く
仏陀の教えに照らされていきましょう。
定例法話会は照らしあわせていつて
おりますので、サンスクリット学習会
に来られなくても、語っていただけるの
です。ぜひ、ご参加ください。」 合掌

住職3月の日程

- 13日(土) 定例法話会・ふれあい寄席
- 17日(水) ~ 23日(水) 春の彼岸会
- 20日(土) 三寶寺合同春の彼岸会
- 26日(金) サンスクリット学習会

住職4月の日程

- 10日(土) 釈尊降誕会(花まつり) 入
参式・定例法話会・寄席
- 19日(月) 湘南組会
- 23日(金) サンスクリット学習会
- 24日(土) 湘南組門徒会

住職5月の予定

- 8日(土) 定例法話会・ふれあい寄席
- 28日(金) サンスクリット学習会